

第3次柏市生涯学習推進計画 (令和元年度進捗状況)

第3次柏市生涯学習推進計画は、外部の有識者を含む附属機関に、計画の進捗を報告するとともに、意見を聞きながら、計画的かつ効果的に推進を図っています。

この計画の進捗管理及び評価については、毎年度、具体的事業により行い、進捗管理及び評価の結果、具体的事業としての位置づけが不要となった場合は翌年度以降、具体的事業からはずします。また、新たに重点的に取り組むべき施策が生じた場合は、翌年度以降に具体的事業として位置づけていきます。

※評価について

各具体的事業の評価につきましては、3段階で示しています。

評価指数	達成度
A	かなり達成できた(80～100%)
B	あまり達成できなかった(50～79%)
C	達成できなかった(0～49%)

1. 地域づくりへの参画支援

(1) 地域のために何かをしたいと考える人材（リーダー・サポーター）の発掘、育成

・ 柏市生涯学習まちづくり出前講座	生涯学習課	1
・ 公民館事業	中央公民館	2
・ 市民大学（カシワワカモノプロジェクト）	協働推進課	3
・ ボランティア養成事業	社会福祉協議会	4

(2) 地域課題をともに解決していくための活動をする団体等への支援（立ち上げ支援・運営支援）

・ 地域活動支援補助金	地域支援課	5
・ 柏市民公益活動育成補助金	協働推進課	6
・ 市民大学（カシワワカモノプロジェクト）	協働推進課	7
・ 市民交流センター(パレット柏)の運営	協働推進課	8
・ 地区担当職員による地域支援	社会福祉協議会	9
・ 地域いきいきセンター	社会福祉協議会	10

(3) 生涯学習実施機関のネットワーク化

・ ネットワーク化の推進	生涯学習課	11
・ 団体間の交流の場づくり	社会福祉協議会	12

2. 子育て・親育ちの支援

(1) 子育ての楽しみや不安を分かち合える環境づくり

・ 地域子育て支援拠点事業	子育て支援課	13
・ 「みんなの子育て広場」	生涯学習課	14
・ 母と子のつどい	地域保健課	15
・ 子育てサロンの開催	社会福祉協議会	16

(2) 安心して子育てができる情報提供・相談体制の充実

・ 利用者支援事業（基本型）	子育て支援課	17
・ 利用者支援事業(母子保健型)	地域保健課	18
・ 子育てサイト「はぐはぐ柏」の管理・運営 (子育て支援情報提供事業)	子育て支援課	19
・ 幼児健診	地域保健課	20

3. 生涯学習情報の提供

(1) さまざまな生涯学習情報、ライフスタイルの変化に対応した学習機会の提供

・ 生涯学習情報提供システム	生涯学習課	21
・ ライフスタイルに合わせた学習機会の提供	生涯学習課	22

1. 地域づくりへの参画支援

(1) 地域のために何かをしたいと考える人材（リーダー・サポーター）の発掘，育成

《行動目標》

地域の特性に合わせた地域づくりの講座を展開し，リーダーやサポーターといった人材の発掘・育成を進める。

《成果目標》

地域づくりに関する活動をはじめた受講者数が増加すること。

具体的事業	柏市生涯学習団ちづくり出前講座		担当課	生涯学習課	
事業の概要	市民の依頼に応じ，講座に関係する部署の職員が講師となり，地域に出向き，市民の皆さんの市政に対する興味・関心に応える。				
年度計画	平成28年度～29年度：各部署のプログラムを現代的課題に関連するものへ移行。 平成30年度～令和2年度：市民への周知を徹底し，当該講座の利用を促す。				
目標値	H28 -	H29 40,000人	H30 45,000人	R1 47,000人	【最終目標】 48,000人
各年度の実績値	H28 26,540人	H29 36,140人	H30 47,233人	R1 104,490人	(参加人数)
活動報告	講座メニュー一覧をホームページに掲載するとともに冊子を発行して近隣センター等で配布することにより，市民へ広く周知を図った。				
課題・懸案事項	市民が市政に関心を抱くきっかけとなるようなメニューについて，担当課と協議する必要がある。				
今後の予定	町会，ふるさと協議会等へ直接冊子を配付する等，市民への制度の周知方法を工夫していく。				
担当課の評価	A	評価の説明	市民のニーズに対応したメニューの提供を行うことができた。新規に追加した防火指導に関する講座の実施回数が増加し，参加人数が前年より大幅に増加した。		

具体的事業	公民館事業		担当課	中央公民館	
事業の概要	地域における課題の解決を図るため、現代的課題の解決に資する学習支援や講座を行う。				
年度計画	平成28年度～令和2年度： ①すべての市民の生涯学習を支える施設へ移行する。 ②沼南公民館の事業を継承。 ③市民の主体的な学びを支援し、生涯学習による地域づくりに取り組む。 ④ネットワーク型による生涯学習の推進に取り組む。				
目標値	H28 -	H29 8,000人	H30 8,500人	R1 3,500人	【最終目標】 9,000人
各年度の実績値	H28 8,291人	H29 7,614人	H30 6,713人	R1 2,418人	(参加人数)
活動報告	柏市教育福祉会館耐震補強及び大規模改修工事に伴い、全館休館中のため、代替会場で規模を縮小して講座を実施した。 地域参加へのきっかけづくりとしての講座を実施した。 沼南公民館事業は継承。 地域のニーズを「現代課題」として捉え講座を開催した。				
課題・懸案事項	新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した講座の実施。 コミュニティエリアを中心とした生涯学習講座の実施。				
今後の予定	市民の参加意欲が高まる講座の企画。さまざまな世代への学習機会の提供。 地域課題をとりあげ、地縁団体等と連携し、講座を実施する。				
担当課の評価	B	評価の説明	柏市教育福祉会館耐震補強及び大規模改修工事に伴い、代替会場での開催となるため、令和元年度の目標値を例年より少なく設定したが、参加人数が目標値に届かなかったため。		

具体的事業	市民大学（カシワワカモノプロジェクト）		担当課	協働推進課	
事業の概要	自ら考え、行動する市民（若者）に向けて交流の機会や活動の場を提供。				
年度計画	平成28年度～令和2年度： 内容や実施体制等の見直しを行い，交流会や各種プロジェクトへの参加を通して地域活動に関わる人材の増加を図る。				
目標値	H28 -	H29 -	H30 -	R1 -	【最終目標】 350名
各年度の実績値	講座受講者数（うち 修了者数） H28 23(22)名	H29 -(-)名 ※事業見直しのた め，実施せず	※H30年度は新たにカシワ ワカモノプロジェクトと して交流イベントを開催 したため，講座形式の事 業は実施していない。 H30 125名 交流イベント（計3回分） の参加者数	※R1年度は新たに KIKAI(カシワワカモノプ ロジェクト)として交流イ ベント・ワークショップ を開催した。 R1 322名 交流イベント・ワーク ショップ（計14回分） 参加者数	(参加者数)
活動報告	柏市に思いを持つ35歳未満の若者たちが集い，若者自らの提案により自主的に活動する，若者を中心とした新しいコミュニティとして，平成31年3月に『KIKAI～新たな柏のチャンスを探求する次世代実験コミュニティ～』としてスタートした。柏市100人カイギ（毎月第4日曜日開催），KIKAIの今後の運営等を市民の皆様と一緒に考える機会として，『KIKAI OPEN MEETING』を開催した。				
課題・懸案事項	新たなコミュニティ「KIKAI」では，若者たちが，楽しさや気軽さを求めながら集い，繋がり，若者の発想力を活かした教育，福祉，子育て，学び，仲間づくりなど様々な施策について自らが考え，活動しながら成長することを目指しているため，若者主体の新たなプロジェクトの始動が求められる。				
今後の予定	「KIKAI」の参加者が主体となる交流イベントの開催および新規プロジェクトを稼動する。				
担当課の評価	A	評価の説明	従来の「かしわ市民大学」に代わり，市民の自発的な活動の基盤となる新たなコミュニティが誕生し，新たな人材の発掘や地域活動が期待されるため。		

具体的事業	ボランティア養成事業		担当課	社会福祉協議会	
事業の概要	ボランティアの担い手が増えるよう、養成講座を行う。（地域課題に対応するボランティア育成講座など）				
年度計画	平成28年度～令和2年度： 精神保健ボランティア※や日常生活支援ボランティア※、災害ボランティアコーディネーター※等、ニーズに基づいた人材育成講座を随時企画・実施。				
目標値	H28 -	H29 700人	H30 700人	R1 700人	【最終目標】 700人
各年度の実績値	H28 764人	H29 594人	H30 603人	R1 435人	(延参加人数)
活動報告	入門講座，精神保健，災害ボラCO，ドラムサークルFA※等の人材育成講座を展開した。				
課題・懸案事項	保育や施設での余暇活動支援などのニーズに対応する人材育成を行う。				
今後の予定	ボランティア入門講座，災害ボラCO養成講座，保育ボランティア養成講座を開催する。				
担当課の評価	B	評価の説明	目標人数に達しなかった。		

※精神保健ボランティア

精神疾患のある方に寄り添う活動を行うボランティア（精神保健ボランティア養成講座の修了者）

※日常生活支援ボランティア

日常生活のちょっとした困り事へのサポートを行うボランティア

※災害ボランティアコーディネーター（災害ボラCO）

被災時に全国から来るボランティアの受付から派遣までを行う災害ボランティアセンターの運営支援を行うボランティア（コーディネーター）

※ドラムサークルファシリテーター（ドラムサークルFA）

ドラムをたたく人が輪(サークル)になって、リズムを合わせてドラムをたたきながら、みんなで交流が図れるように、指揮者のような役割を果たす人

1. 地域づくりへの参画支援

(2) 地域課題をともに解決していくための活動をする団体等への支援（立ち上げ支援・運営支援）

《行動目標》

地域課題は、多種多様であり、地域と行政だけでは解決することはできません。そこで、地域と行政と共に地域課題を解決する団体の立ち上げ支援や、運営支援を行います。

《成果目標》

地域活動に取り組む団体の立ち上げ数及び登録総数が増加すること。

具体的事業	地域活動支援補助金		担当課	地域支援課	
事業の概要	地域活動や地域課題の解決を図ろうとする団体の支援を行う。				
年度計画	平成28年度～30年度：広報や地域活動への支援を通じて本補助制度を周知し、新たな取り組みの増加を図る。平成30年度に次年度以降の補助金制度見直しに向け検討する。 令和元年度～：見直した結果を踏まえ実施する。				
目標値	H28 12件	H29 12件	H30 12件	R1 12件	【最終目標】 -
各年度の実績値	H28 11件	H29 12件	H30 13件	R1 13件	(補助団体数)
活動報告	11月に募集を行い、2月の選考会により交付団体を選抜した。				
課題・懸案事項	市内すべての町会が課題解決に向け検討できるよう周知を図ること。				
今後の予定	10月に令和3年度の募集を開始する。相談会・選考会を経て、年度末に交付団体を決定する。また、令和2年度の交付団体による活動報告会を3月に行う。				
担当課の評価	A	評価の説明	実績が目標値に対し、達成されているため。		

具体的事業	柏市民公益活動育成補助金		担当課	協働推進課	
事業の概要	設立から間もない団体のための補助金。今後、事業力や信頼性を高めたい団体向け。				
年度計画	平成28年度～令和2年度：現制度における課題等を抽出し制度の見直しを検討するとともに、広報の充実、団体の育成等を通じて応募団体の増加を図る。				
目標値	H28 -	H29 -	H30 応募団体15団体	R1 応募団体15団体	【最終目標】 -
各年度の実績値	H28 -	H29 応募団体16団体 交付団体13団体	H30 応募団体17団体 交付団体16団体	R1 応募団体17団体 交付団体16団体	(応募団体数) (交付団体数)
活動報告	ポスター展や、活動報告会、意見交換会を実施。団体を運営していくうえで必要な能力の基礎をつくり、当該補助金の目的である団体の育成に繋げた。				
課題・懸案事項	<ul style="list-style-type: none"> ・応募要件の見直し ・補助金制度上の課題（事業収入の扱いなど） ・補助金制度内容の理解（交付団体） 				
今後の予定	交付団体の補助金運用状況の把握と管理。補助金の適正な運用の強化・周知に向け制度の見直しを行う。				
担当課の評価	B	評価の説明	目標値の応募団体数は達成しているが、補助金の目的となる市民公益活動団体の育成という視点からは、団体活動の維持や発展に向けた制度の見直しが必要。		

具体的事業	市民大学（カシワワカモノプロジェクト）		担当課	協働推進課	
事業の概要	自ら考え、行動する市民（若者）に向けて交流の機会や活動の場を提供。				
年度計画	平成28年度～令和2年度：内容や実施体制等の見直しを行い、交流会や各種プロジェクトへの参加を通して地域活動に関わる人材の増加を図る。				
目標値	H28 -	H29 -	H30 -	R1 -	【最終目標】 350名
各年度の実績値	講座受講者数（うち 修了者数） H28 23(22)名	H29 -(-)名 ※事業見直しのた め、実施せず	※H30年度は新たにカシワ ワカモノプロジェクトと して交流イベントを開催 したため、講座形式の事 業は実施していない。 H30 125名 交流イベント（計3回分） の参加者数	※R1年度は新たに KIKAI(カシワワカモノプ ロジェクト)として交流イ ベント・ワークショップ を開催した。 R1 322名 交流イベント・ワーク ショップ（計14回分） 参加者数	(参加者数)
活動報告	柏市に思いを持つ35歳未満の若者たちが集い、若者自らの提案により自主的に活動する、若者を中心とした新しいコミュニティとして、平成31年3月に『KIKAI～新たな柏のチャンスを探求する次世代実験コミュニティ～』としてスタートした。柏市100人カイギ（毎月第4日曜日開催）、KIKAIの今後の運営等を市民の皆様と一緒に考える機会として、『KIKAI OPEN MEETING』を開催した。				
課題・懸案事項	新たなコミュニティ「KIKAI」では、若者たちが、楽しさや気軽さを求めながら集い、繋がり、若者の発想力を活かした教育、福祉、子育て、学び、仲間づくりなど様々な施策について自らが考え、活動しながら成長することを目指しているため、若者主体の新たなプロジェクトの始動が求められる。				
今後の予定	「KIKAI」の参加者が主体となる交流イベントの開催および新規プロジェクトを稼動する。				
担当課の評価	A	評価の説明	従来の「かしわ市民大学」に代わり、市民の自発的な活動の基盤となる新たなコミュニティが誕生し、新たな人材の発掘や地域活動が期待されるため。		

具体的事業	市民交流センター(パレット柏)の運営		担当課	協働推進課	
事業の概要	地域を構成するさまざまな主体の自主的な活動や主体同士がつながるための拠点として、地域情報等に関する情報の収集・発信や、市民活動に関する相談窓口の設置を行う。				
年度計画	平成28年度～令和2年度：平成28年5月施設開館予定。指定管理者と連携し、各種事業等を実施し、施設の来館者及び登録団体の増加を図る。				
目標値	H28 -	H29 来館者 300,000人 登録団体 1,400団体	H30 来館者 300,000人 登録団体 1,400団体	R1 来館者 410,000人 登録団体 2,500団体	【最終目標】
					来館者数 420,000人 登録団体数 2,800団体
各年度の実績値	H28 来館者 334,084人 登録団体 1,355団体	H29 来館者 404,208人 登録団体 2,029団体	H30 来館者 412,771人 登録団体 2,399団体	R1 来館者 425,575人 登録団体 2,730団体	(来館者数) (登録団体数)
活動報告	令和元年度に施設開設4年目を迎えた。年度末に新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、一部施設の利用中止等も行ったが、柏駅前の好立地やイベント等の開催もあり、年度計では、来館者数、登録団体共に増加している。またミーティングルーム・多目的スペース（有料貸出施設）の年間稼働率も引き続き85%を超えている。				
課題・懸案事項	多くの市民が利用する中で、施設の設置目的となる利用者や利用団体同士の交流を促す仕組みや新たな活動を始めるきっかけとなる場の提供がより一層求められる。				
今後の予定	令和2年度に令和3年4月からの次期指定管理者の選定作業を実施する予定であり、現状の課題等を踏まえた対策を盛り込んでいく。				
担当課の評価	A	評価の説明	来館者数や登録団体数の堅調な増加に加え、有料施設の稼働率も維持しており、目標値を達成しているため。		

具体的事業	地区担当職員による地域支援		担当課	社会福祉協議会	
事業の概要	地区担当職員が積極的に地域に足を運び、住民と協働して課題解決に向けた取り組みを行い、活動や団体の立ち上げのサポートを行う。				
年度計画	平成28年度～令和2年度：随時				
目標値	H28 -	H29 1,320回	H30 1,320回	R1 1,320回	【最終目標】 1,320回
各年度の実績値	H28 1,385回	H29 1,471回	H30 1,410回	R1 1,435回	(職員活動回数)
活動報告	地域の福祉活動、支えあい会議、生活支援や居場所づくりの支援を行った。				
課題・懸案事項	活動を支える担い手が不足している。				
今後の予定	地域内の生活支援や居場所のネットワークを支えあい会議等を通じて推進する。				
担当課の評価	A	評価の説明	新型コロナウイルスの影響で2月末～3月末の活動が自粛傾向にあったが、目標値を超える数値となった。		

具体的事業	地域いきいきセンター		担当課	社会福祉協議会	
事業の概要	地域づくり・子育て・障害者・高齢者支援等の充実を図るため、近隣センターを拠点として、身近な福祉の相談窓口として設置する。				
年度計画	平成28年度～令和2年度：2年毎に1か所の設置を目指し、柏市と検討・調整を図っていく。				
目標値	H28 -	H29 -	H30 -	R1 -	【最終目標】 7か所
各年度の実績値	H28 4か所	H29 5か所	H30 設置無し	R1 6か所	(設置か所数)
活動報告	令和元年8月に田中ちいきいきセンターを開設した。				
課題・懸案事項	南部ちいきいきセンターの開設。新たな設置地域の候補選定。 ※令和2年5月南部ちいきいきセンター開所				
今後の予定	新たな設置地域の検討，調整を行う。				
担当課の評価	A	評価の説明	6か所目となる田中ちいきいきセンターを開設した。		

1. 地域づくりへの参画支援

(3) 生涯学習実施機関のネットワーク化

《行動目標》

庁内関係部署との連携、団体と行政の連携を進め、「ネットワーク型行政」への転換を進めます。

《成果目標》

市役所内部の関係部署の活動数、交流活動数及びネットワーク会議に参加した団体数が増加すること。

具体的事業	ネットワーク化の推進		担当課	生涯学習課	
事業の概要	市役所内の関係部署及び大学や民間事業者との連携を強化する。				
年度計画	平成28年度～30年度：関係部署、関係団体との連携強化を図るとともに、連携事業等を検討するため、ネットワーク会議を開催。 令和元年度～：ネットワーク会議を踏まえた連携事業等をモデル事業として実施開始。				
目標値	H28 -	H29 2回	H30 -	R1 -	【最終目標】 -
各年度の実績値	H28 -	H29 2回	H30 1回	R1 2回	(会議の開催回数)
活動報告	高柳地区の地域資源の保存・活用に向けて具体的に取組めることについて、関係各課、社会福祉協議会、地域団体等で協議を行った。 東京大学との連携事業として、関係各課と協力し、豊四季台くるるセミナーを実施した。				
課題・懸案事項	地域課題やニーズの把握及び事業の実施に向けて更なる協議を進めていく。				
今後の予定	引き続き、コミュニティエリアを中心とした生涯学習講座の実施に向け、各団体や関係部署と連携を図っていく。				
担当課の評価	B	評価の説明	事業の実施に向けて、関係各課と協議を図ったが、より活発で継続的な連携から事業へ繋げる取組が必要。		

具体的事業	団体間の交流の場づくり		担当課	社会福祉協議会	
事業の概要	さまざまな団体が交流し、特徴を活かしながら連携すること。そして、複雑で多様化した生活課題等の解決（地域包括ケアシステムの構築）や新たな活動の誕生、更なる活動の幅を広げることのできる地域を目指す。				
年度計画	平成28年度：ボランティア団体，NPO法人等を対象に団体同士のつながり，協働のきっかけとなる場を設定。 平成29年度：対象団体拡充の検討を行い，目的型と地縁型がつながりあえる場を検討。 平成30年度以降：検討結果を踏まえ，定期的につながり合える場を設定。				
目標値	H28 -	H29 -	H30 -	R1 -	【最終目標】 -
各年度の実績値	H28 -	H29 -	H30 -	R1 -	-
活動報告	支えあいに関わる関係者・機関が広く会議に参加している。				
課題・懸案事項	会議で一参加者に留まっている傾向にある。				
今後の予定	支えあい会議だけでなく，ネットワークのための顔合わせの機会を設定するなど，支えあいをより地域全体で進める環境づくりを行う。				
担当課の評価	B	評価の説明	ネットワーク化と地元企業など，他領域の参画までには至っていない。		

2. 子育て・親育ちの支援

(1) 子育ての楽しみや不安を分かち合える環境づくり

《行動目標》

子育ての当事者である保護者同士が支えあい、学びあい、高めあえる関係をつくとともに、子ども同士も育ちあえるよう、親子が出会い、交流できる場を充実させる。

《成果目標》

“子育て仲間がない”と回答した割合が減少すること。

具体的事業	地域子育て支援拠点事業		担当課	子育て支援課	
事業の概要	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場を提供し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う。				
年度計画	平成31年度までに24か所にする。 地域子育て支援拠点事業従事者を対象とした研修の充実(子育て支援員研修の実施など)や親支援プログラムの実施など、質の向上を図る。				
目標値	H28 21か所	H29 23か所	H30 24か所	R1 24か所	【最終目標】 24か所
各年度の実績値	H28 21か所	H29 20か所	H30 20か所	R1 20か所	(設置か所数)
活動報告	建替え等による施設の長期休業や、新型コロナウイルス感染拡大防止のため全施設が休業する状況であったが、地域子育て支援拠点単独の施設は、はぐはぐひろば※沼南は22,852人/11カ月、はぐはぐひろば若柴は10,910人/10カ月の利用があり、盛況であった。				
課題・懸案事項	感染症の状況に対応した事業の実施、質の維持・向上。				
今後の予定	新しい生活様式を取り入れた事業の実施形態を検討・実施していくとともに、はぐはぐひろば若柴については、施設の改修を行い、交流スペースの拡大を行う。				
担当課の評価	B	評価の説明	施設の休館等により、総数を増やすことができなかった。		

※はぐはぐひろば

未就学児とその保護者及び妊娠中の方がいるご家族が気軽に利用できる、地域子育て支援拠点の柏市内における名称の一つ。主に保育園等に併設されていない単独型の施設の名称となっている。

具体的事業	「みんなの子育て広場」		担当課	生涯学習課	
事業の概要	学校・家庭・地域が協力して、講習会や井戸端会議的なグループワークなどを実施し、情報収集・交換や不安や悩みの解消、仲間作りの推進を行う。				
年度計画	平成28年度：市内28校で実施。 平成29年度：市内35校で実施。 平成30年度：市内全42校で実施。 令和元年度以降：自立した運営ができる学校を増やしていく。				
目標値	H28 28校	H29 35校	H30 42校	R1 42校	【最終目標】 42校
各年度の実績値	H28 29校	H29 35校	H30 42校	R1 42校	(実施校数)
活動報告	「みんなの子育て広場」支援コーディネーター※（PTAの経験者等）19名と生涯学習専門アドバイザー※が、各学校の「みんなの子育て広場」の活動を支援し、全42校で実施した。				
課題・懸案事項	保護者同士の情報交換や不安や悩みの解消といった活動がうまく軌道に乗せられていない学校もあるなど、各学校ごとの特性に合わせた継続性のある活動となる支援が必要。				
今後の予定	講座などの活動を通じた保護者の学びの支援と、それらのイベントをきっかけにした保護者同士の情報交換や悩みの解消の支援を目的とした活動を中心に据え、各学校に積極的に関わる機会を増やし支援していく。				
担当課の評価	B	評価の説明	担い手が学校とPTAに固定化される傾向にあり、活動がルーティーン化しがちである。悩みの解消などの子育て・親育ちの支援に届いていない点の改善が必要なため。		

※「みんなの子育て広場」支援コーディネーター

各学校の「みんなの子育て広場」支援委員会との企画実施等の連絡調整役を担う。

※生涯学習専門アドバイザー

家庭教育支援事業に関する指導・助言・調査研究について、専門的な視点から関わる。

具体的事業	母と子のつどい		担当課	地域保健課	
事業の概要	地域ぐるみの子育て支援として、柏市民健康づくり推進員※との連携協力により実施する。また、地域ごとに開催し、身体計測や専門職による健康講話、個別相談、参加者同士の交流、情報交換等を行う。				
年度計画	平成28年度～29年度：母子保健事業における、周知の強化や地域ニーズに合わせた運営方法、実施内容の検討及び実施。 平成30年度～令和2年度：参加者のニーズにあわせた啓発物を検討。育児相談について、離乳食や歯科指導も含め、効率的・効果的に実施。				
目標値	H28 13,500人	H29 13,500人	H30 13,500人	R1 13,500人	【最終目標】 13,500人
各年度の実績値	H28 実施回数 236回 11,163人	H29 実施回数 240回 11,049人	H30 実施回数 215回 6,597人	R1 実施回数 192回 6,024人	(参加者延数)
活動報告	妊婦、赤ちゃん（1歳頃まで）とその保護者を対象に、月1回程度各近隣センター等で、身近な地域における保護者同士の仲間づくりや交流を図った。				
課題・懸案事項	各地域の子育て支援施設、子育てサロン等でも各種イベントを開催しているため、違いを明確にした満足度が高い企画を、柏市民健康づくり推進員と協力して実施すること。				
今後の予定	身近な地域の子育て支援として柏市民健康づくり推進員を中心とした活動を実施していく。また、各地域の実情に応じた活動となるよう市保健師等が支援していく。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施方法について検討予定。				
担当課の評価	C	評価の説明	平成30年度より、柏市民健康づくり推進員が主体となって実施している。地域の実情に合わせて回数・内容を見直した結果、実施回数・参加者数は減少傾向にあり、令和元年度の目標値に対する参加者延数の割合は44.6%となっている。しかし、満足度に影響はないと考えられる。		

※柏市民健康づくり推進員

市内20地域において、各町会等より推薦され、赤ちゃんから高齢者まで地域ぐるみの「子育て支援活動」「健康づくり活動」を行政とともに取り組んでいる非常勤特別職という身分の職員。

具体的事業	子育てサロンの開催		担当課	社会福祉協議会	
事業の概要	地域の近隣センターや集会所等で、親子が気軽に集まる場を提供する。				
年度計画	平成28年度～令和2年度：地区担当職員の支援により、地域の子育てサロンの立ち上げ支援を行うとともに、年に1～2回程度、子育てサロンサポーター向けの交流会や研修会を実施。また、子育てサロンの情報を掲載した冊子を作成し、広く情報提供を図る。				
目標値	H28 -	H29 -	H30 -	R1 -	【最終目標】 -
各年度の実績値	H28 -	H29 -	H30 -	R1 -	-
活動報告	地域組織（ふる協・地区社協）を通じて子育てサロンの支援を実施した。				
課題・懸案事項	子育てサロン各団体が安定して活動できている。				
今後の予定	今後も持続可能な活動となるよう支援を継続する。				
担当課の評価	A	評価の説明	計画通り実施した。		

2. 子育て・親育ちの支援

(2) 安心して子育てができる情報提供・相談体制の充実

《行動目標》

子育て関連情報が広く市民全体に伝わる情報提供体制をつくとともに、気軽に相談できる場やさまざまなケースに適切に対応できるような相談体制を充実させます。

《成果目標》

育児のしづらさを感じている割合が減少すること。

具体的事業	利用者支援事業（基本型）		担当課	子育て支援課	
事業の概要	子ども・子育て支援の推進に当たって、子ども及びその保護者等、又は妊娠している方が教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、身近な実施場所で情報収集と提供を行い、必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施し、支援を行う。				
年度計画	令和2年度までに2か所整備する。 基本型と母子保健型のそれぞれの特性を發揮し、互いの機能を補完し合いながら、子育て家庭を対象とした包括的な支援の展開を目指す。				
目標値	H28 —	H29 1か所	H30 1か所	R1 2か所	【最終目標】 2か所
各年度の実績値	H28 0か所	H29 1か所	H30 1か所	R1 2か所	(設置か所数)
活動報告	【基本型】 はぐはぐひろば※若柴に新たに子育て支援アドバイザーを配置し、はぐはぐひろば沼南と合わせて2か所で事業を実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1ヶ月間は電話相談のみとなったが、相談件数は合計で983件/年と、月80件を上回る実績を上げた。				
課題・懸案事項	電話相談の周知及び地域バランスを考慮した新設の検討。				
今後の予定	【基本型】 はぐはぐひろばまで出向くことができない方に向けてホームページ等を通じ、電話相談の周知を行う。また、当該事業の新設については、日頃から親子が集まる場所で実施することが効果的であると考えられるため、地域子育て支援拠点を中心とした既存の子育て支援施設との併設を検討していく。				
担当課の評価	A	評価の説明	令和元年度に2か所目を開設することができているため、計画のとおり事業実施することができている。		

※はぐはぐひろば

未就学児とその保護者及び妊娠中の方がいるご家族が気軽に利用できる、地域子育て支援拠点の柏市内における名称の一つ。主に保育園等に併設されていない単独型の施設の名称となっている。

具体的事業	利用者支援事業(母子保健型)		担当課	地域保健課	
事業の概要	妊娠期から子育て期にわたるまでの総合的相談支援の実施。保健師等の専門職がすべての妊産婦等を対象に継続的に把握し、必要に応じて支援プランを関係機関と協力して策定する。				
年度計画	4箇所目を平成30年度当初に設置。また、駅前すこやかプチルーム※を年度内にオープンし、妊娠・育児に関し気軽に相談できる場所の提供や情報提供をする。				
目標値	H28 -	H29 3か所	H30 4か所	R1 4か所	【最終目標】 4か所
各年度の実績値	H28 設置準備	H29 3か所	H30 4か所	R1 4か所	(柏市妊娠子育て相談センター箇所数)
活動報告	【母子保健型】柏市妊娠子育て相談センター※(4か所)にて、母子健康手帳発行時に専門職による全数面談を実施し、支援が必要な者に対し、関係機関と連携して、早期介入・早期支援を実施した。また、平成30年度に開設した駅前すこやかプチルームにおいて、相談や情報提供、仲間づくりの充実を図った。				
課題・懸案事項	要支援者が増加しているなか、包括的な相談体制の確保のため、資質の高い人材の確保と人材育成が必要。				
今後の予定	【母子保健型】特定妊婦やハイリスク妊婦・要支援家庭への支援のため関係機関との連携を強化と相談支援体制の整備をしていく。また、関係課と連携した育児情報の提供等、ポピュレーションアプローチ※の推進を図る。				
担当課の評価	A	評価の説明	妊娠子育て相談センターにおいて全数面談を実施し、気軽に相談できる場所づくりを行った。		

※駅前すこやかプチルーム

柏市妊娠子育て相談センター（柏駅前）を拡充し、身体計測や子育てに関する相談ができる場として、平成30年10月に「駅前すこやかプチルーム」と称しオープンした。

※柏市妊娠子育て相談センター

柏市の子育て世代包括支援センターとして、市内4か所に設置し、妊娠期から子育て期での総合的相談支援を実施している。

※ポピュレーションアプローチ

支援対象を限定せず、集団全体に対して、健康づくり等の働きかけを行い、健康度等を高めていく方法。

具体的事業	子育てサイト「はぐはぐ柏」の管理・運営 (子育て支援情報提供事業)		担当課	子育て支援課	
事業の概要	主に手当や助成などの制度，子育てに関するイベント，市内の子育て支援団体の情報などを子育てサイトに掲載し，提供する。				
年度計画	コンテンツの充実など子育てに必要な情報が取得しやすい環境をつくとともに，子育て家庭の目線で発信を行う。 子育て支援団体等が自主的に情報発信しやすくなるような仕組みづくりなど，機能の充実を図る。				
目標値	H28 1,500,000件	H29 1,700,000件	H30 1,900,000件	R1 2,000,000件	【最終目標】 -
各年度の実績値	H28 1,165,351件	H29 1,234,649件	H30 1,358,644件	R1 1,633,294件	(閲覧数)
活動報告	はぐはぐ柏※へのアクセス流入を目的に「はぐはぐ柏LINE公式アカウント」に注力(LINE公式アカウント登録者数3,802人，前年比+1,172人)。これまでの配信方法を見直し，クリック率の増加やアカウントブロック数の減少に繋がった。また，LINE配信用に作成した季節イベント等の特集ページは，閲覧数が1か月で1ページ600～800件と好調で，はぐはぐ柏からの施設来館者数増加に寄与した。				
課題・懸案事項	令和2年2月末頃より急増した新型コロナウイルス感染症に伴う緊急対策について，引き続き迅速かつ確実な対応を行っていく。 また，現行サイトは「ほしい情報がすぐに見つからない」「カテゴリ分けが使いづらい」など，市民・職員から複数課題が上がっているため，サイトを改善していく必要がある。				
今後の予定	今後，柏市オフィシャルウェブサイトのリニューアルに伴い，はぐはぐ柏もリニューアルを予定していることから，改めてユーザー目線のデザインや機能・カテゴリを精査し，課題解決を図っていく。				
担当課の評価	A	評価の説明	はぐはぐ柏のページ掲載方法の改善・LINE公式アカウントの活用等，今ある機能を効率よく活用し，工夫を重ねながら情報発信を行うことができた。またはぐはぐ柏の閲覧目標数の達成率も81.6%となった為，この評価とした。		

※はぐはぐ柏

平成21年(2009年)に開設した柏市の公式子育てサイト。

主に手当や助成などの制度，子育てに関するイベント，市内の子育て支援団体の情報などを掲載している。

具体的事業	幼児健診		担当課	地域保健課	
事業の概要	集団健診を実施。 ①対象児への個別通知。 ②健診会場にて身体計測，口腔内観察(3歳児は歯科検診)専門職による相談・指導。 ③必要時精密健診受診票発行。 ④必要時継続支援。 ⑤未受診者への受診勧奨などを実施。				
年度計画	平成28年度～令和2年度：保護者の育児不安を解消するとともに，継続した支援が必要な場合には，関係機関と連携した支援体制の充実を図る。				
目標値	H28 1歳6か月児健診：95% 3歳児健診：93%	H29 1歳6か月児健診：95% 3歳児健診：93%	H30 1歳6か月児健診：95% 3歳児健診：93%	R1 1歳6か月児健診：95% 3歳児健診：93%	【最終目標】 1歳6か月児健診：95% 3歳児健診：93%
各年度の実績値	H28 1歳6か月児健診：3,404人(93.8%) 3歳児健診：3,315人(90.2%)	H29 1歳6か月児健診：3,391人(92.0%) 3歳児健診：3,227人(91.3%)	H30 1歳6か月児健診：3,342人(91.2%) 3歳児健診：3,464人(89.9%)	R1 1歳6か月児健診：3,285人(89.8%) 3歳児健診：3,336人(86.5%)	(受診率)
活動報告	母子保健法に基づき健康診査を実施。子どもの健やかな発育発達を促す健診を目指している。				
課題・懸案事項	正しいスクリーニングを行うための精度管理。子ども発達センターとの連携。				
今後の予定	受診率の向上および未受診者の把握を行う。				
担当課の評価	A	評価の説明	感染症拡大時期に受診自粛があったため例年より年度内の受診率は低くなったが，適切に実施できた。		

3. 生涯学習情報の提供

(1) さまざまな生涯学習情報，ライフスタイルの変化に対応した学習機会の提供

《行動目標》

“生涯学習”についての周知や、「らんらんかしわ」を通じて情報発信の強化，講座やイベント生涯学習に係る情報を集約できるよう，システムの充実を図っていきます。同時に団体情報等の同種の関連情報について，統合の可能性を模索し，関係機関，関連部署と協議を行います。さらに，「誰もが，いつでも，どこでも，自由に」学ぶ機会が得られるよう，新しいシステムを活用した，学習の提供も検討します。

《成果目標》

生涯学習講座・事業の紹介数及び閲覧数が増加すること。□

具体的事業	生涯学習情報提供システム			担当課	生涯学習課	
事業の概要	柏市内(近隣)の生涯学習に関する情報(講座イベントや団体など)を探したり，掲載したりできるサイト。官民かかわらず情報を提供。					
年度計画	平成28年度～30年度：東葛飾地域の生涯学習情報の一体的な提供に向け，関係機関等と調整。 令和元年度以降：調整結果を踏まえた情報提供の実施。					
目標値	H28 30,000件	H29 30,000件	H30 55,000件	R1 56,000件	【最終目標】 57,000件	
各年度の実績値	H28 23,639件	H29 52,378件	H30 94,727件	R1 91,444件	(サイト閲覧数)	
活動報告	講座，イベント等の情報を随時更新し，生涯学習ボランティアやまちづくり出前講座の情報等を掲載し，生涯学習機会の提供に努めた。					
課題・懸案事項	生涯学習活動の充実を図るために情報提供のしくみは非常に重要なものであるため，利用者が適時適切に情報を入手し，活用することができるよう工夫していく必要がある。					
今後の予定	幅広い年代の方に，手軽に生涯学習情報を閲覧してもらえるよう，より検索しやすいホームページの表示方法等を検討し，改良に努めていく。					
担当課の評価	A	評価の説明	サイトの閲覧数が，目標値を大幅に上回ったため。			

具体的事業	ライフスタイルに合わせた学習機会の提供		担当課	生涯学習課	
事業の概要	公民館等における受講，自宅におけるPCによる受講，移動中におけるタブレット端末等による受講など，さまざまなツールに向けた学習情報を提供することにより，市民のライフスタイルに合わせた学習の機会を拡充する。				
年度計画	各種ツールの普及状況や市民ニーズ等から方向性を検討。				
目標値	H28 -	H29 -	H30 -	R1 -	【最終目標】 -
各年度の実績値	H28 -	H29 -	H30 -	R1 -	-
活動報告	生涯学習推進に関する取組について庁内関係各課との会議の機会を捉え，情報共有と方向性を検討した。				
課題・懸案事項	幅広い年代の方に受け入れられる学習情報の発信手段を工夫する必要がある。 また，生涯学習に関わる様々な情報を一元化することで取り組みやすくする工夫が必要。				
今後の予定	他市等の先進的な取組を調査するとともに，各種ツールの普及状況や市民ニーズ等から方向性を検討していく。 オンラインでの学びのニーズに応える取組が様々な形で始まっている現在の状況に合わせ，工夫していく。				
担当課の評価	C	評価の説明	各種ツールの普及状況や市民ニーズ等の検討が不十分であったため。		